

珠海出張時には、いつも利用するホテルのロビーに、毎年恒例でもある月餅販売のブースが出た。

月餅は、中国では「中秋節」に食するものである。

中秋節とは旧暦の8月15日、日本では中秋の名月、十五夜であり、すすきと団子のお供えでの観月の日となるが一般的にはそれ以上の意味はないように思う。

でも、中国では、春節(旧暦1月1日)、端午節(旧暦5月5日)と並んで、三大節(祭り/行事)の一つであり、この日は一家団欒の日でもあり、一斉の休日となる。

私にとっての月餅は、90年末から、ここ珠海で3年間を過ごした頃の思い出につながる。

この季節、日本のお歳暮感覚で建設所にも届けられる赤と金文字の派手な化粧箱、そして中の月餅の微妙な甘さが、当時の苦楽の思い出と共に蘇る。

さて、今回の写真には、このブースの販売員の陳さん、そして、その上司の張さんにも登場してもらった。

手にもつのは4個入り150元(約2千円)のパッケージ。

快く撮影に応じてくれたのは、これを私にお買い上げ頂いたからに違いない。(でないと私も頼めないが)

月餅の販売開始は、秋の訪れを予感させる、この時期の風物詩である。

この写真撮影の前日、今回出張での打合が予定どおり無事完了したこともありお客様が一席もうけてくれた。

その席でのテーブルにも一口サイズに切った月餅が供され、食事に洒落たいろどりを添えることになった。

今年の中秋節は新暦では9月12日。

この日、どの地で過ごすことになるかは分からない。でも、これが晴天の夜であれば、しっかり満月をみながら、ここ珠海の人たちのことを思いながら、中秋節の喜びを分かち、秋の訪れを感じたい。

